



川を守る下水道

対象

活用可能な単元

小学3・4年生

小学5年生

小学6年生

社会

わたしたちの生活と環境

学習指導要領上の位置づけ

平成23年度施行の小学校学習指導要領社会（第5学年）では、2内容に「我が国の国土の自然などの様子について、次のことを地図や地球儀、資料などを活用して調べ、国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを考えるようにする。」「ウ 公害から国民の健康や生活環境を守ることの大切さ」と記されている。さらに、3内容の取扱いでは、「ウについては、大気汚染、水質の汚濁などの中から具体的事例を選択して取り上げること。」と記載されている。

同解説では、「関係の諸機関をはじめ多くの人々の様々な努力により公害の防止や生活環境の改善が図られていることなどを取り上げることが考えられる。」「公害の問題を国土の環境保全の観点から扱うようにするとともに、自分自身や自分の生活とのかかわりでとらえることにより、公害から国民の健康や生活環境の維持・改善に配慮した行動が求められるなど、国民一人一人の協力が必要であることに気付くようにすることが大切である。」と明記されている。

単元のポイント

公害の中から、「水質の汚濁」を選択して取り上げた単元である。

- ・水質汚濁の改善のために、下水道が重要な役割を果たしていることを理解する。
- ・下水道に関連した職業があることを知り、下水道の維持・管理に関わっている人々の努力について考える。
- ・川等の水環境保全のためには、一人一人の協力が必要であることに気付く。

本時のねらい

- ・下水道と下水道を支える人々によって川が守られていることを理解する。
- ・川を守るためには、一人一人の協力が必要であることを知り、水環境保全に対する意欲を高める。

授業の流れ

1時間
扱い

流れ	学習活動 (予想される児童の反応)	指導上の留意点	資料
導入 (10分)	1 昭和40年代の川の様子について、その原因を考える。 ● 洗剤で汚れた川の写真を見たことがある。 ● 工場が汚れた水を流していたと思う。 ● 畑や田んぼの水も川につながっている。 2 現在は川がきれいになっているのはどうしてかを考える。 ● 下水処理場で水をきれいしている。	● 工場排水・農業排水・家庭排水などの複数の原因をおさえる。	● 教材 (p.19) 下水道が整備される前の状況 ● 教材 (p.21) 下水道が整備された後の川の様子
展開 (25分)	3 下水道施設の仕組みについて資料をもとに確認する。 4 下水道を支えている人について話し合う。 ● 下水処理場で働いている人がいるよ。 ● 下水は一日中流れてくるから、24時間働いていると思うよ。 ● 道路で下水管の工事を見たよ。	● 4年生で学習した汚水処理の学習を想起させ、下水管・下水処理場の仕組みを再確認する。(学習指導案「わたしたちの生活と下水道」(p.5) 参照) ● 資料をもとに、下水道施設の維持・管理をしている人々について考える。	● 教材 (p.31) 汚水はどこを通っていくの？ ● 教材 (p.32) 下水処理場の仕組み ● 教材 (p.60～65) 下水道施設で働く人の写真・資料
まとめ (10分)	5 下水道以外に川を守っている人について考える。 ● 川の掃除をしている人。 ● 下水を流している私たちも川を守ることができる。 ● 川を守るためには、一人一人の協力が必要。	● 自分を含む一人一人の協力が必要であることを理解させる。	

評価規準

- ・下水道と下水道を支える人々によって川が守られていることを知り、水環境保全のために自分たちができることを考えることができる。